

4月5日（日）「東洋のベニス・堺」でお花見散策を開催

日 時：平成27年4月5日（日曜日）

場 所：堺市旧市街地、大仙公園周辺

参加者：35名（尼崎支部16名、近隣支部17名、本部青年部2名）

尼崎支部では阪神六支部と青年部の参加を得て、恒例の春のお花見・散策を開催しました。今年の散策場所は堺、かつて「東洋のベニス」と呼ばれ、日本を代表する交易・国際都市として栄えてきた街です。また堺には、春の花「桜」の名所が沢山あります。

そんな堺を感じるため、まずはのんびりと「ちんちん電車」で向かいました。天王寺から揺られること三十分、中心部にある戎公園（通称ザビエル公園）に着きました。最初の訪問先は「堺伝統産業館」。刃物、自転車だけでなく、和菓子、線香、昆布、緞通（敷物）等など改めて堺の伝統産業の素晴らしさを学ぶことが出来ました。



「ザビエル公園」にて



「堺伝統産業館」にて

次なる目的地は、町屋歴史館「山口家住宅」です。途中は、旧環濠（内川）を巡りました。川沿いのソメイヨシノが春爛漫の陽気に誘われて今とばかりに咲き誇り、のどかな散策を楽しむことができました。



「堺伝統産業館」では 堺刃物を見学



旧環濠（内川）沿いの桜

「山口家住宅」は江戸時代初期に建築された町屋で、同時代に近隣農村の庄屋を務めた役割も担っており、外見は町屋ながら玄関から内部に入ると大きな土間を持つ独特な構造となっています。此处では、三百年前の当時の堺の町屋の暮らしぶりを学習しました。



満開の桜



「山口家住宅の内部 外は町家ですが中は農家でした」

この後、参加者は寺町の「本願寺堺別院」などの寺院に立ち寄りながら、昔の堺の町並みと桜をめ、南海電車に乗って三国ヶ丘の昼食会場「魚太郎」へと向かいました。

昼食会では恒例の参加支部代表と青年部による挨拶と支部紹介が行われ、大いに盛り上がり親睦を深めました。

食事後は仁徳天皇陵まで散策、この後各自で桜の名所「大仙公園」を散策し、堺の春を堪能しました。



昼食後にみんなで・・・



「荘厳な仁徳陵」

今回のお花見は、尼崎を出発する頃は例のごとく冷たい春雨が降り注ぎ、「雨男は誰だ？」の小声も聞こえましたが。しかし、「堺伝統産業館」を出発する頃は青空も見え、気温もぐんぐん上昇して絶好のお花見日和となりました。参加の皆様のがけの良さに感謝し、また親睦をより一層深めて無事終えることができましたことを有難く思います。今後とも尼崎支部行事ご支援・ご協力をお願いいたします。